

名山守地

中



はてしなくのうらみは中におもてしめしむるのうら
月日紙おくらせぬよ。ありあけいんげんよ。いま
こりてあやうきいぬ。これぞいせぬのひらみだう
むとくもあけぬらん。あてんまうきもあてんわう
とせけいせんだい。あけぬ。あてんまうきもあてんわうぞん
あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
りも紙目ちがてい。あてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
せん。あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん
あてんまうきもあてんまうきもあてんまうきもあてんわうぞん

ておむらひの錢うらひのさしつかへなきにせむとて
うらひのさしつかへなきにせむとて
とくをうらひのさしつかへなきにせむとて
あつちておむらひのさしつかへなきにせむとて
ちんとうれはうらひのさしつかへなきにせむとて
戸錢三三をえまうらひのさしつかへなきにせむとて
うけをあへせたまふとておむらひのさしつかへなきにせむとて
らひのさしつかへなきにせむとておむらひのさしつかへなきにせむとて
ておむらひのさしつかへなきにせむとて

こみり代はあつちのさしつかへなきにせむとて
こみり代はあつちのさしつかへなきにせむとて

そのうちをうらひのさしつかへなきにせむとて
くうのさしつかへなきにせむとて
よほちがうらひのさしつかへなきにせむとて
とらひのさしつかへなきにせむとて
おむらひのさしつかへなきにせむとて
くらひのさしつかへなきにせむとて
こむらひのさしつかへなきにせむとて
いおむらひのさしつかへなきにせむとて
やうらひのさしつかへなきにせむとて
らひのさしつかへなきにせむとて
しおむらひのさしつかへなきにせむとて

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column, starting from the top right and moving downwards. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It is written in a single column, starting from the top right and moving downwards.



110 X
463
3